

第二級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法規 12問
無線工学 12問 } 24問 1時間

法 規

〔1〕 無線局の予備免許が与えられるときに指定される事項はどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線局の種別
- 2 無線設備の設置場所
- 3 免許の有効期間
- 4 空中線電力

〔2〕 固定局（免許の有効期間が1年以内であるものを除く。）の再免許の申請は、どの期間内に行わなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 免許の有効期間満了前3箇月以上6箇月を超えない期間
- 2 免許の有効期間満了前1箇月まで
- 3 免許の有効期間満了前2箇月まで
- 4 免許の有効期間満了前2箇月以上3箇月を超えない期間

〔3〕 電波の主搬送波の変調の型式が角度変調で周波数変調のもの、主搬送波を変調する信号の性質がアナログ信号である単一チャネルのものであって、伝送情報の形式が電話（音響の放送を含む。）の電波の型式を表示する記号はどれか。次のうちから選べ。

- 1 J3E
- 2 A3E
- 3 F1B
- 4 F3E

〔4〕 第二級陸上特殊無線技士の資格を有する者が、陸上の無線局で人工衛星局の中継により無線通信を行うものの多重無線設備の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下のものか。次のうちから選べ。

- 1 30ワット
- 2 50ワット
- 3 10ワット
- 4 125ワット

〔5〕 無線局（総務省令で定めるものを除く。）の免許人は、主任無線従事者を選任したときは、当該主任無線従事者に選任の日からどれほどの期間内に無線設備の操作の監督に関し総務大臣の行う講習を受けさせなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 5年
- 2 3箇月
- 3 1年
- 4 6箇月

〔6〕 無線従事者の免許を与えられないことがある者はどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線局の免許の取消しを受け、その取消しの日から2年を経過しない者
- 2 刑法に規定する罪を犯し罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者
- 3 日本の国籍を有しない者
- 4 無線従事者の免許を取り消され、取消しの日から2年を経過しない者

第二級陸上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に規定されているものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線通信は、迅速に行うものとし、できる限り速い通信速度で行わなければならない。
- 2 無線通信に使用する用語は、できる限り通常使用するものでなければならない。
- 3 無線通信には、略語以外の用語を使用してはならない。
- 4 必要のない無線通信は、これを行ってはならない。

〔8〕 無線従事者がその免許を取り消されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 日本の国籍を有しない者となったとき。
- 2 不正な手段により無線従事者の免許を受けたとき。
- 3 刑法に規定する罪を犯し、罰金以上の刑に処せられたとき。
- 4 引き続き5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。

〔9〕 無線局の免許人は、電波法に基づく命令の規定に違反して運用した無線局を認めたときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 その無線局の免許人を告発する。
- 2 その無線局の免許人にその旨を通知する。
- 3 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
- 4 その無線局に電波の発射の停止を求める。

〔10〕 無線局の免許人が電波法又は電波法に基づく命令の規定に違反したときに総務大臣から受けることがある処分はどれか。次のうちから選べ。

- 1 期間を定めて電波の発射の停止を命じられる。
- 2 3箇月以内の期間を定めて無線局の運用の停止を命じられる。
- 3 違反した無線従事者の解任を命じられる。
- 4 無線局の免許の取消しを受ける。

〔11〕 陸上移動局（包括免許に係る特定無線局その他別に定める無線局を除く。）の免許状及び無線局免許証票は、どこに備え付けておかなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 免許状は免許人の住所に、無線局免許証票は総務大臣が別に告示する場所に備え付ける。
- 2 その送信装置のある場所に備え付ける。
- 3 免許状は基地局の無線設備の設置場所に、無線局免許証票は無線設備の常置場所に備え付ける。
- 4 免許状は無線設備の常置場所に、無線局免許証票はその送信装置のある場所に備え付ける。

〔12〕 無線局の免許人が免許状を返さなくてはならないのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 免許状を汚したため再交付の申請を行い、新たな免許状の交付を受けたとき。
- 2 無線局の運用の停止を命じられたとき。
- 3 電波の発射の停止を命じられたとき。
- 4 免許人が電波法に違反したとき。